

login.config ファイルの変更

login.config ファイルの変更 (★)

※NII提供のVMwareイメージ（実習セミナーのものを除く）についてはすでに下記設定は行われております。確認して次に進んでください。

LDAPのデータを用いたID/パスワード認証のためにlogin.config ファイルを変更します。各設定値は、ldapのデフォルト設定と同じ値とします。

/opt/shibboleth-idp/conf/login.config ファイルを以下のように編集してください。 (★)



実習セミナー

手順に従って、参照先LDAP情報を変更してください。

参照先ホストは localhost ではなく、「ex-ldap.gakunin.nii.ac.jp」を設定します。

初期状態では、「/* ~ */」のようにコメント化されています。

コメントを解除して、以下のように変更してください。

※下記はuserFilterにuid属性を設定していますが、他の属性を設定することによりログイン時のIDに対応する属性を変更することができます。

```
ShibUserPassAuth {
// Example LDAP authentication
// See: https://wiki.shibboleth.net/confluence/display/SHIB2/IdPAuthUserPass
/* */      ← コメント終了を追加して、以下を有効とします
  edu.vt.middleware.ldap.jaas.LdapLoginModule required
    ldapUrl="ldap://localhost"
    baseDn="o=test_o,dc=ac,c=JP"
    ssl="false"
    userFilter="uid={0}" ← この行の行末の ; を削除
    subtreeSearch="true"
;      ← 最後の ; は必ず記述
/* */      ← コメント開始を追加して、上記を有効とします
```

※端末のサイズによっては表記がずれる可能性があります。画面を広くしてご覧ください。

